

特集

薩摩川内も盛り上がるろう！

西郷どん

西郷どん一口メモ

今年のNHK大河ドラマは「西郷どん」ですが、呼称の由来は一般的に知られていません。鹿児島弁には、言葉を縮め、あるいは音を変えて発音するなど、一定の法則があるようです。

例えば、「野菜=yasai」は「yasé=yase」、「砂糖=satou」は「sato=sato」、「者」は「mon」などです。

この法則に「西郷殿=sai gou殿」を当てはめると、「ai→e」「ou→o」「殿→どん」と変換され、「ségōどん=西郷どん」になります。鹿児島弁は奥が深いですね。

今 年は、明治維新150周年の記念すべき年であるとともに、NHKの大河ドラマ「西郷どん」が放送されるとあって、鹿児島県全体が盛り上がりを見せています。狩りと温泉を好み、各地を訪れてその足跡を残した西郷どん。本市にもゆかりの地や品物、逸話が数多く残されています。私たちの身近なところにも、あちこちに足跡が残されています。人間味あふれるエピソードに触れ、その足跡をたどれば、西郷どんのことがもっと身近に感じられ、親しみも湧きます。

西郷どんのエピソード【in 薩摩川内】

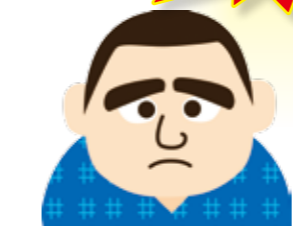
■妹背橋(高城町) 弘化元年(1844)、西郷どんが18歳の時、橋を架く工事に携わっていたと伝わる。

■西郷山(宮里町) 西郷どんがこころで狩をしたこつかあ、こん名が付たつていわれちよん。字名も「西郷」じゃん。



■川内高城温泉(湯田町) 弘化元年に続く、明治2(1869)年にもまた来やつて、ウサギ獲いやら囲碁を楽しんでみよつたといやん。西郷どんが使こいよつたと伝わあ基盤も残つちよん。

■板垣どんからの借金(五代町) 板垣どんは当時の水引郷の分限者(資産家)。西郷どんな、こつかあ合計200両の金を借つて、そん借金を戻つちよつたといわちよんが。



「つん」が暴露！

■愛犬つんの出身地(東郷町藤川) 西郷どんが連れちよいやあ私(愛犬つん)の故郷は、本市の東郷町じゃん。藤川天神で拜ました時、出会つて一目ぼれしよつて、飼おちよいやつた前田善兵衛どんからもちよつたんじゃん。

■西郷少年と山火事(宮内町) 新田八幡宮の御陵を訪ね歩つ時、野宿ん残い火の不始末で山火を焼失さすつちよん。山火を起こさいたつちよんが。

本市でも大河ドラマのロケが行われました！

1月7日(日)から、NHKの大河ドラマ「西郷どん」の放送が始まりました。県内各地で、大河ドラマのロケが行われているようですが、なんと、本市でもロケが！！

11月3日(金)、西郷隆盛役の俳優鈴木亮平さん、スタッフなど総勢約100人が、本市入来町でロケを実施。当日は、小雨が降り続くあいにくの天候でしたが、関係者一行の熱気に圧倒されながら、職員も協力させていただきました。ロケ終了後は、薩摩川内名物の「ちんご団子」も味わっていた、好評でした。

放送日などの詳細が決定次第、皆さんにお知らせしますので、楽しみに待っていてください！

「つん」が見つかりました！

昨年7月21日から3カ月かけて、「西郷どんの愛犬・つんがいなくなった！」と、全国各地を大捜索(観光物産キャラクターを募集)。その結果、およそ300件の目撃情報が寄せられ、無事に「つん」を見つけることができました。西郷どんも「つん」が見つかり、ひと安心の様子。再び西郷どんの元からいなくなるならないように、皆さんも「つん」を見守り、かわいがってくださいね。

「駅市 薩摩川内」では、各種グッズを販売しています。マグカップに缶バッジ、Tシャツなど、かわいい「つん」がいっぱい。

ぜひ、お気に入りの一品を見つけてください！！



耳元には藤川天神の梅の花

首輪は川内大綱引をイメージした綱の首輪

「西郷つん」プロフィール
ツツツした性格。主人思いで曲がったことが大嫌い。流行に敏感。

【キャラクターに関する問合せ先】=
株薩摩川内市観光物産協会
☎(25)4700

【商品に関する問合せ先】=
駅市 薩摩川内 ☎(20)7800

わっせうんまかせげんぶい！

「せごどんぶい」とは、西郷どんの好物であった「豚肉」と、作るのが得意だったといわれている「みそ」を使用した本市のご当地どんぶりです。昨年6月29日に入来麓の「武家茶房Monjo」「IRIKI hearts」「隆盛」の3店舗による3種類のせごどんぶいが見えし、今では「道の駅榑脇遊湯館」「みかく亭」の2店舗を加えた計5種類のせごどんぶいが楽しめます。独自性に富んだ逸品を、ぜひ、ご賞味ください。



2020年を見据えたおもてなし力向上を目指して

今回紹介したエピソードの場所やロケ地巡りなど、本市を訪れる多くの観光客を真心込めてもてなそうと、公認観光ガイドの皆さんも西郷どんについて目下勉強中です。その一環として、かごしま探検の会の代表理事である東川隆太郎氏と共に、身近な西郷どんの話題探なども行っています。

収集した話題は、西郷どんゆかりの地マップやエピソード集として発行予定です。そんな話題の披露も兼ねて、今後ツアーなども企画しますので、ぜひ参加ください。



【問合せ先】= 本庁観光・シテイセールス課
観光おもてなしグループ
☎(23)5111(内線4387)